

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第233号



2026年3月26日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



拡大幹事学習会③

近代日本150年—窒素の化学

県職労・岡部さんから紹介された本—山本義隆著。副題は、科学技術総力戦体制の破綻。決定的なのは動力革命であり、福沢諭吉が囚われた科学技術幻想が、以後150年間日本を呪縛したという内容。

自由民権運動に抗して強権的な内閣を支える官僚機構を作る事が、東京帝大の存在理由。京都帝大：日清戦争での賠償金により、九州帝大と東北帝大：足尾鋳毒事件の非難を避けるための寄付による。大阪帝大と名古屋帝大：それぞれ理工と医の学部だけで戦争直前に創立。

電信網と鉄道路線敷設は、アジア侵略のため。朝鮮支配の中核は、鉄道の敷設だった。第一次大戦は、最初の科学戦。「国家による科学動員」という政策。欧米の第二次産業革命—新しい化学工業、内燃機関の発明。総力戦—軍需産業と並んで重要なのは、化学産業。

1906年カーバイド工場を水俣に建設。寒村に文明開化をもたらしたが、カーバイドからアセトアルデヒドをつくる触媒の水銀が水俣病をもたらした。

日本の科学者の戦争総括は、科学戦の敗北が語られ、60年代の経済成長は、戦後版の総力戦。チッソが責任を認めたのは、アセトアルデヒドの生産が終了してから。

ハーバーボッシュ法は、空中窒素の固定を、工業的に大規模に実現した。20世紀の人口爆発と、世界規模での戦争の火薬を支えた。

第1回評議員会、欠席多数で流会！

2/27(金)の評議員会は、感染症の流行で欠席が相次ぎ、流会となりました。

活動報告・総括・会計報告は、6月の第2回幹事会で確認することとし、春闘方針案は、案のまま、各単産・単組の春闘方針の参考としてもらうことにし、報告を行いました。

討論では、土建からはいちご狩りや拡大月間の報告、三浦市職労からはアンケート等の報告、年金者からは年金裁判の訴

え、自交総連からはアンケートの取組や市内他社の状況、公務公共一般からは、エンディング支援や食料支援の報告、うわまち病院労組からは、春闘でベア確実の報告、合同労組からは、夢喰虫に続き、セーフティガード警備争議と丸和産業争議の報告、また市民運動から、労働学校・市民発電所・平和大会の取組の発言がありました。

評議員会は不成立でしたが、春闘方針案を参考に、春闘をがんばっていきましょう！

3. 13集会、盛況でした！

3/13(金)、恒例の、重税反対統一行動が行われ、ヴェルク横須賀第一会議室での集会のあと、中央駅前を通過して、税務署までデモ行進しました。司会は、急遽藤枝さんが行うことになり、決意表明は事務局長が行いました。

終了後、年金者組合からの参加者2名とともに、合同庁舎7階の食堂に行きましたが、行列していたため、ポーターマーケットに行き、海鮮ラーメンを食べました。

